

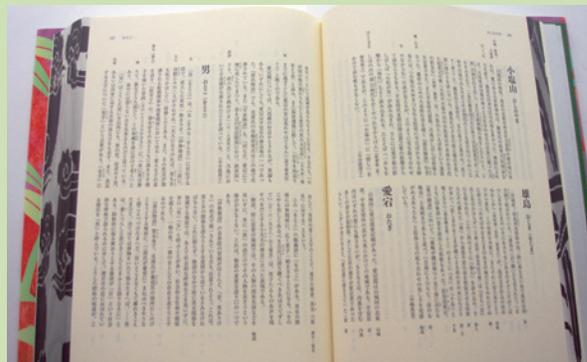
造本装幀コンクールに入賞!

「造本装幀コンクール」は、1966年より「出版文化の向上・発展及び一般読者の読書推進」をテーマに始まり、今回、第43回を迎えることになった由緒あるコンクールです。最近1年間に発行された書籍を12種類に分類し、文字組・装幀や印刷・製本の美しさや機能性などあらゆる角度から審査され受賞作品が決定されています。審査対象344点のうち16点が受賞作品となりました。

弊社はこの度、(社)日本書籍出版協会様並びに(社)日本印刷産業連合会様主催の「第43回造本装幀コンクール」の「日本書籍出版協会理事長賞(人文・社会科学書)」を受賞いたしました。

受賞作品は、(株)朝倉書店様『王朝文化辞典一万葉から江戸まで』です。組版から印刷までを担当させて頂きました。

内容もさることながら、小口(こぐち)側(印刷用語で「本の外側」)全体に文様が表れるデザインでしたので、組版の際苦勞をいたしました。しかしそれ以上に、きれいに仕上げた下された牧製本印刷(株)様、また素敵な装幀を作成して下された(株)薬師寺デザイン研究所様には御礼の言葉も見つかりません。



また、何よりも編集・出版でご苦勞された(株)朝倉書店様にはただただ感謝するばかりです。

授賞式は7月9日(木)、東

京ビックサイトで開催中の「東京国際ブックフェア2009」内で行われました。式場には、受賞者を中心に関係者が100名ほど集まりました。冒頭、審査委員長である俳優の児玉清様から、「厳しい経済環境から生まれる洗練された新しい造本装幀」というお言葉を頂戴しました。授賞式では、代表して(株)朝倉書店代表取締役社長・朝倉邦造様が表彰されました。弊社からも、代表取締役社長・土屋毅、営業部課長・石川明宏が出席させて頂きました。

弊社にも賞状と盾を頂戴しました。帰社後、弊社各部署に報告させて頂き、大いに喜ばせて頂いた一方、さらにクオリティを上げていくために社員一同身の引き締まる思いをした次第です。今後も、品質向上に邁進して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

